

書くこと③

第2学年

自分の考えを明確にしながら、場面のつながりを考えて文章を書くこと

つまずきの実態

～こんな児童の姿が見られませんか？～

場面がつながるように、伝えたい事柄を決められない。

様子が急に変わり、出来事をつなぐ言葉や次へ場面設定する書き出しの文がなく、前の場面とつながっていない。

野原の上をころがってあそびました。三人で楽しくあそんで帰りました。

「うん。あそぼう。」
「うん。あそぼう。」
「あひるくん、いつしよにあそぼう。」
「うん。あそぼう。」
「あひるくん、いつしよにあそぼう。」

「うん。あそぼう。」
「うん。あそぼう。」
「うん。あそぼう。」
「うん。あそぼう。」
「うん。あそぼう。」

次の場面へつながるような会話文や様子を表す文がない。

同じような会話文で、様子を表す表現も少ない。

実践の概要

単元名

絵を見てお話を作ろう

『絵を見てお話を作ろう』 東京書籍

目標 絵から場面の様子を想像し、一つ一つの場面がつながるように物語を書く。

- 内容
- ・場面がつながるように物語を書くという単元の見通しをもつ。
 - ・絵から場面の様子や人物を想像し、書きたい内容を明らかにする。
 - ・書き出しの文や出来事をつなぐ言葉を使って、場面がつながるように物語を書く。
 - ・物語を交流し合い、単元を振り返る。

学習内容の系統と各学年に見られるつまずき

| 学習内容 (単元名) | | つまずきの実態 |
|------------|-------------------------|---|
| 第6学年 | 自分の投書を新聞に投稿しよう | 自分の主張に沿った理由とその理由につながる根拠が書けない。 |
| 第5学年 | 「和の魅力リーフレット」を作ろう | 目的に応じた小見出しを作り、その内容を説明する文章を自分の考えと区別して適切な資料を入れながら書けない。 |
| 第4学年 | 広告大賞を目指して、夢の〇〇商品の広告を作ろう | 2つの文章を読み取り、それぞれの意図や目的による違いが挙げられない。 |
| 第3学年 | 理由がわかるように書こう | 自分の考えたこととその理由を整理し、順序立てて書くことができない。 |
| 第2学年 | 絵を見てお話を作ろう | 場面がつながるように、伝えたい事柄を決められない。 |
| 第1学年 | のりものかるたをつくろう | 調べたことから、学習のめあて(役目・つくり・できることを意識して書く)に則した伝えたい内容が決められない。 |

単元末の目指す姿

- ・場面の様子や人物について想像を広げ、物語を書くポイントを意識しながら、場面のつながりを考えて、書きたい内容を決めることができるようになる。
- ・場面が変わるときに出来事をつなぐ言葉を活用したり、場面の書き出しや書き終わりに留意したりして、一つ一つの場面につながりがある物語を書くようになる。

つまずき解消に向けた指導の工夫 ①

物語を書くポイントを提示し、場面の様子や人物などについて、話し合わせる。

活動のねらい▶ 場面の様子や人物について想像を広げ、自分の書きたい内容を明確にすることができる。

ここがポイント

「いつ」「どこで」「だれが」「したこと」「ようす」「気持ち」「話したこと」など物語を書く上で考えるポイントを書いた掲示物を提示し、児童が場面に応じて書く内容を落とさず考えられるようにする。

授業の様子

木にとてもたくさんのリングがなっていて、びっくりしているよ。

くまはたくさん持って帰ろうと、リュックサックを持っているよ。

うさぎが「おいしそう」、くまが「早くとろう。」と言っていると思うな。



(期待される児童の姿)

物語を書くポイントを提示し、それをもとに話し合うことで、考える視点をもつことができ、書きたい内容が明確にもたたり、物語の展開を見通したりできるようになる。

つまずき解消に向けた指導の工夫 ②

書き出しの例や出来事をつなぐ言葉を提示し、ワークシートに場面の冒頭の一文を書かせる。

活動のねらい▶ 前の場面とつながるように次の場面を書き始めることができる。
 ▶ 前の場面の文章を読み返し、次の場面へのつながりを考え直すことができる。

ワークシート

ここがポイント

【場面をつなぐ言葉：「それから」「すると」「ところが」など】、【場面の書き出しの言葉：「山の上には」「次の日」など】、場面の書き始めに使う言葉を提示し、児童がどの言葉を使えば場面がつながるか考えられるようにする。

(期待される児童の姿)

書き出しの例や出来事をつなぐ言葉をヒントに、ワークシートに場面の冒頭文を書き、交流する。聞き合うことで、場面のつながりに気付いたり、様子を表す言葉を書き加えたり、前の場面とのつながりを見直したりできるようになる。

